

旭川バイオマス利活用セミナー

2009年

NPOあうるずNEWSLETTER

第2号



12月26日 環境モデル都市下川など木質バイオマス活用



環境モデル都市下川町の政策や全国の木質バイオマスの利用状況、生ゴミのバイオガス利用の成功事例を中心に議論されました。

旭川地域は近年木質バイオマスの活用が進み、森林保全活動や木質バイオマス活動を盛んに行っている下川町が環境モデル都市に選定されるなど、注目をあつめる地域です。新しい、地産地消エネルギー産業として地域活性化が期待されるバイオマスセミナーに多くの人がお集まりいただきました。



環境バイオマス総合対策推進事業意識改革事業昨年より農水省が行っているバイオマス振興事業のうち全国8ブロックで展開されている「意識改革事業」の北海道ブロックの活動をNPOあうるずが受託しております。

多彩な講演内容

基調講演として帯広畜産大梅津教授から「バイオマスと地域振興」と題して講演いただきました。

バイオマスって何だろう？という最初の疑問から北海道各地で取り組まれているバイオマス事業について紹介していただきました。なかでも畜産バイオガスプラントに関しての十勝の成功事例は旭川地域ではあまり知られていなくて反響が大きかったようです。

次に「木質バイオマスエネルギーの活用事例と課題」と題して季刊「環境施設」編集長の篠田様より日本全国の木質バイオマス活用の事例を紹介していただきました。印象深かったのは最後に篠田編集長が「バイオマス活用はみんなで努力して取り組んでいる最中でありあまり拙速に成果を求めると目的を見失う

帯広畜産大学 梅津教授
北海道大学 谷川准教授
下川町 春日課長
環境施設 篠田編集長
司会 菊池専務



community thinktank owls
北海道帯広市東二条南四丁目



バイオマスの若い力 Wake up

バイオマスのセミナーを開催するとにかく背広姿のおじさんが多くなります。今後、持続する社会を展開するためのツールとしてのバイオマス利用としては若い人たちとの連携や彼らの努力を支援することも重要です。帯広では高校生のバイオマス研究を発表する「バイオマス甲子園」を開催しました。

今回は東海大学から発生したプロジェクトとしてECO箸袋のプロジェクトを紹介しました。



12月26日は道央はあいにくの雪となりました。東京千歳便はほとんど欠航し、JRも札幌～旭川は1時間遅れとなっていました。鎌倉からくる篠田編集長が無事に到着するか心配していましたが、東京～旭川は欠航もなく到着しました。

◆後援：北海道経済産業局、北海道農政事務所、新エネルギー産業技術総合開発機構、旭川開発建設部、北海道上川支庁、旭川市、下川町

ことになる」などのお話がありました。



農林水産省からは大臣官房環境バイオマス政策課のバイオ燃料班 課長補佐大倉弘二氏さまから「バイオ燃料施策の説明」をいただきました。帯広でも講演していただいたのですが、大変わかりやすい語り口でバイオマスの初歩から話をしてもらい、最後は現在の農林水産省の政策を教えてくださいました。

地域の事例報告は北大の谷川准教授から「中空知地域における生ごみバイオマス化の取り組み」と題して講演がありました。北海道の有機廃棄物の中では家畜糞尿の占める割合が多いことなどを指摘した後に、中空知地域は生ゴミ処理をバイオガスで行い成功を取っています。

環境モデル都市下川町からは「下川町の森林バイオマスの取り組み」と題して下川町の春日課長から講演していただきました。森林資源を活用して町の自立を考えるという施策がすでに昭和20年代から進められていることに驚くと同時に、地道な努力が現在の森林で自立する町・下川町を作っていることが実感できました。今後も排出権取引など先進的で多様な取り組みを展開していくことでしょう。



最後に質疑応答を行ったのですが、バイオマス慣れ？していないこともあり数名の発言にとどまりました。いずれも経済性に関する質問でした。バイオガスパラント建設コストの質問、また下川町jの木質エネルギーの経済性に関する質問もありました。

【次第】

- 1.開会の案内司会進行／NPOあうるず 専務理事 菊池 貞雄
- 2.バイオ燃料施策についての説明農林水産省 大臣官房環境バイオマス政策課バイオ燃料班 課長補佐 大倉 弘二氏
- 3.基調講演「バイオマスと地域振興」帯広畜産大学教授 梅津 一孝氏「木質バイオマスイエネの活用事例と課題」『環境施設』編集長 篠田 淳司氏
- 4.道内事例報告
「中空知地域における生ごみバイオマス化の取り組み」北海道大学准教授 谷川昇氏
「下川町の森林バイオマスの取り組み」下川町地域振興課長 春日 隆司氏
- 5.フロアディスカッションコーディネーター／NPOあうるず 専務理事 菊池 貞雄
- 6.閉会

